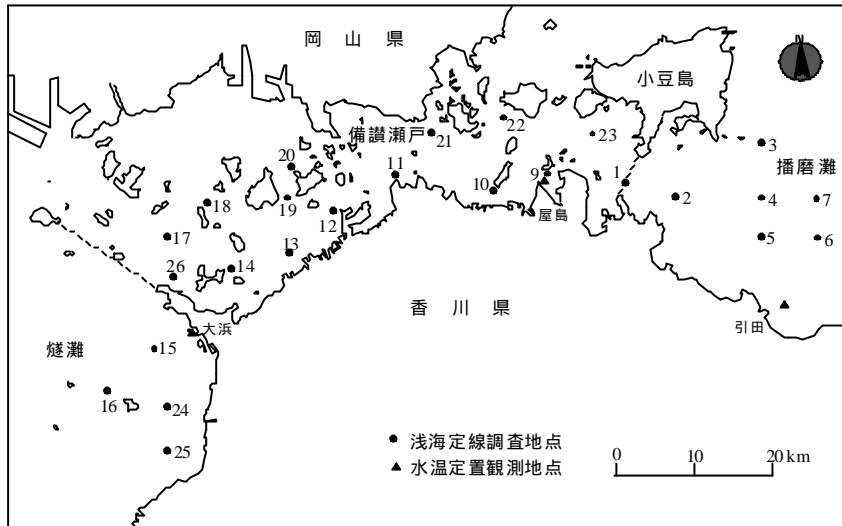


香川県漁海況速報 平成16年 1月 (H15-10号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成16年1月9日(播磨灘)、7日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「平年並み」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	13.1	13.1	13.1	32.1	32.1	32.2	10.3	5.83	5.81
	平年値	12.4	12.4	12.4	32.5	32.4	32.5	7.9	5.94	5.90
	平年偏差	0.7	0.7	0.7	-0.3	-0.3	-0.3	2.4	-0.11	-0.09
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	13.0	13.0	12.9	32.5	32.5	32.6	5.3	5.80	5.83
	平年値	11.8	11.8	12.0	32.6	32.6	32.8	5.9	5.94	5.95
	平年偏差	1.1	1.1	1.0	0.0	0.0	-0.2	-0.6	-0.14	-0.12
	状況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	13.2	13.2	13.3	32.6	32.6	32.7	6.3	5.76	5.66
	平年値	12.5	12.5	12.5	32.8	32.8	32.9	7.6	6.03	5.91
	平年偏差	0.7	0.7	0.9	-0.2	-0.2	-0.2	-1.3	-0.27	-0.25
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

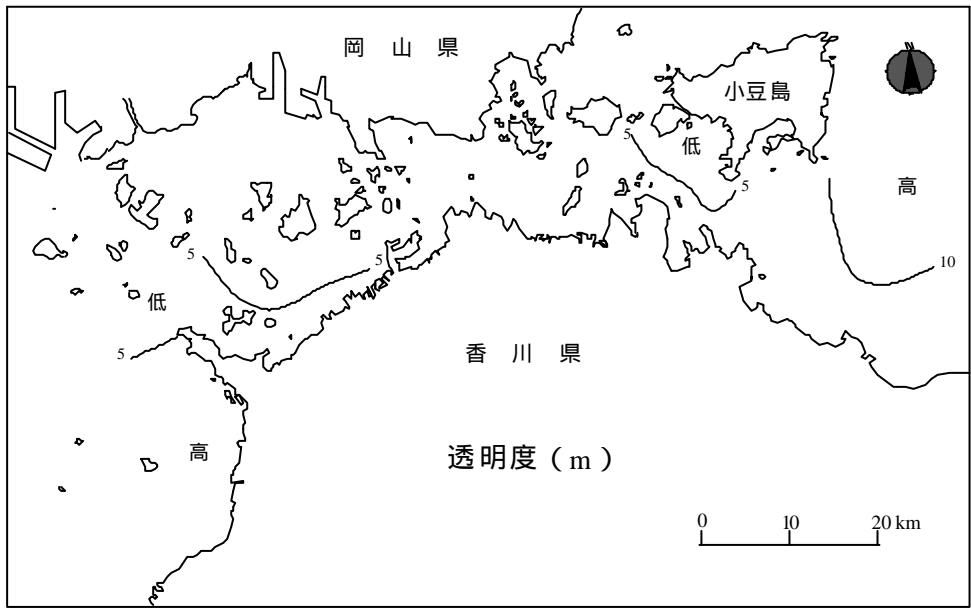
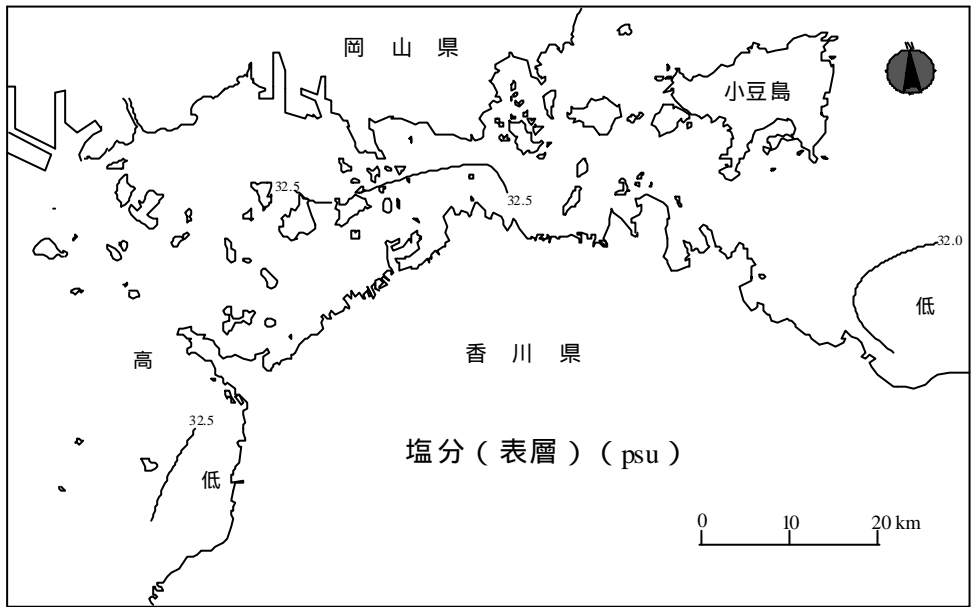
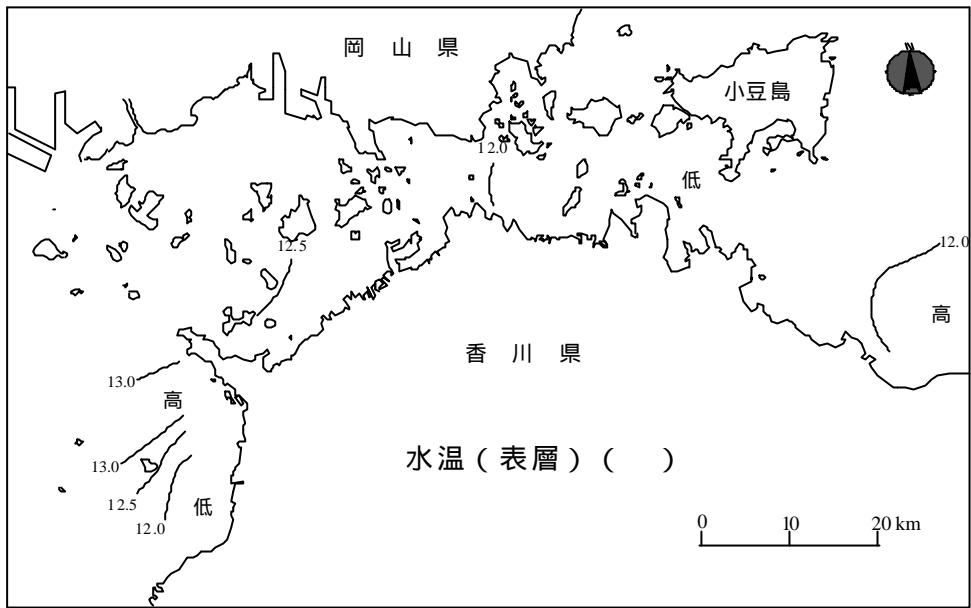
水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (: 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差



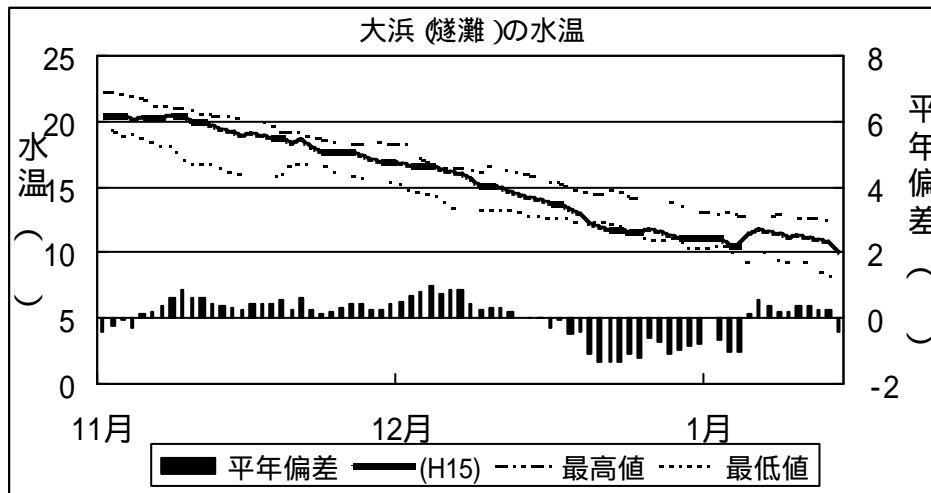
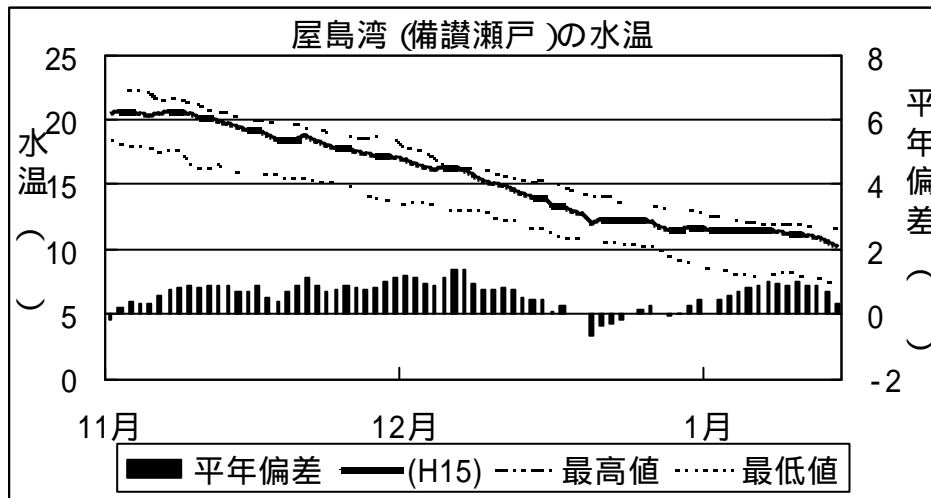
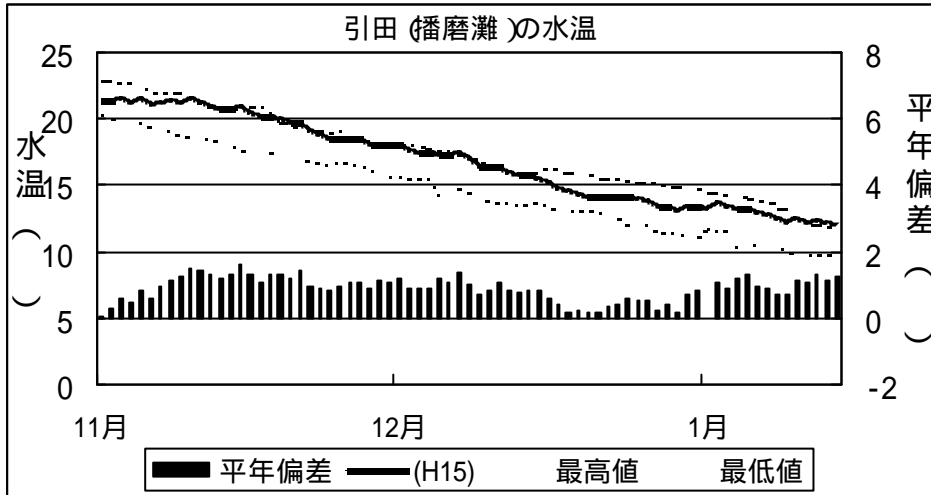
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 12月中旬に平年偏差が一時小さくなっていたが、1月に入り大きくなり1 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 12月中旬に平年偏差が小さくなっていたが、1月に入り大きくなり1 前後で推移している。

燧灘(大浜): 12月中旬に平年偏差が小さくなり - 1 前後で推移していたが、1月上旬に大きくなり、平年値前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成16年1月9日（播磨灘）、7日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	2.50
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	4.60
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	2.97

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	0.0%	-	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	0.0%	0.0%
燧灘平均	-	0.0%	0.0%	0.0%
総平均	-	0.0%	0.0%	0.0%

- :平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。

2. 漁況

12月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にスズキ、マコガレイが漁獲されているが、全般的に低調である。 柵網ではタチウオ、ウルメイワシ、スズキが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダコ、イイダコ、小型イカ類、アカニシが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器の漁獲量は100～200kg/日・隻と前年と比較すると多いものの、小型貝が主体であった。
燧 灘	底びき網では主にメイタガレイ、シャコ、ガザミ、テンジクダイ、スズキ、小型イカ類が漁獲されている。